

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公開番号】特開2006-113303(P2006-113303A)

【公開日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-017

【出願番号】特願2004-300682(P2004-300682)

【国際特許分類】

G 0 9 B 19/06 (2006.01)

G 0 9 B 7/02 (2006.01)

【F I】

G 0 9 B 19/06

G 0 9 B 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月12日(2007.10.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ディスプレイの表示画面に、外国文の例文表示と、解答入力欄とを表示する手段と、
上記解答入力欄に解答を入力する手段と、

上記外国文の例文表示に表示された例文を、当該例文を構成する1つ又は複数の単語を
空欄にした、出題音声として発生し、かつ上記例文を出題するごとに上記空欄の位置を変
更する手段と、

を具え、上記出題音声のうち、上記空欄の単語を上記解答を入力する手段によって上記
解答入力欄に入力させる

ことを特徴とする言葉学習装置。

【請求項2】

ディスプレイの表示画面に、外国文の例文表示と、解答入力欄とを表示し、

上記解答入力欄に解答を入力し、

上記外国文の例文表示に表示された例文を、当該例文を構成する1つ又は複数の単語を
空欄にした、出題音声として発生し、かつ上記例文を出題するごとに上記空欄の位置を変
更し、

上記出題音声のうち、上記空欄の単語を上記解答を入力する手段によって上記解答入力
欄に入力させる

ことを特徴とする言葉学習方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、出題音声の空欄の位置を、出題ごとに変更するようにしたことにより、同じ例文を用いて、有効なディクテーションの学習を行い得る。